

「地域の力を学校へ」推進事業の実践例（平成24年度実施分）



テーマ

Theme

「職業講話～はたらくとは？～」

学校・園名

School name

甲賀市立甲南中学校(2年生)

講師等

Lecturer etc.

滋賀ダイハツ販売株式会社

実施日

Date

平成24年5月31日

教科等

Subject etc.

総合的な学習の時間

授業 Class

社会貢献の一環で、月に一度小学校を訪れ、トイレ掃除をされる社長が働くことについて講話されました。「(トイレを)使う人が喜んでくれたら嬉しい」と顔をほころばせる姿に、生徒は意表をつかれたようでした。「してあげることは格別の喜びです。してもらい喜びからしてあげる喜びへの移行が社会人の仲間入り。職場体験はまさにその第一歩」と話されました。

しかし、働くことは単に決められたことをやるのとは違います。身だしなみ、挨拶、時間厳守、整理整頓、礼を尽くす…どれも欠かせません。

人は不完全だが、それを自覚できるから努力します。「完璧ではない。ご迷惑をおかけするかもしれない」。受け入れて下さる会社の職場は、それを承知で受け入れて下さいます。それなら「与えられたチャンス、生かさない手はないでしょう?」。その問いかけに、子どもたちは目の色を変えました。『職場体験に行くのではなく、行かせて頂く…』という意識が芽生えたようです。

後半の社員によるマナー講習では、清潔な爪の長さの目安や、「胸を張って、おしりにえくぼ」など、気持ちのいい挨拶に欠かせないポイントを伝授され、実践学習しました。



感想

Impression

生徒より Impression from Children

- 今まではできることを適当にやれば、給料がもらえると思っていましたが、挨拶や身だしなみ、時間厳守などいろんなことに気を配らないといけないので、働くのは大変だと思いました。
- お父さんやお母さんが毎日こんな大変な思いをして働いていたと思ったら、感謝の気持ちでいっぱいです。「ありがとう」と言いたいと思いました。
- こんな未熟な私でも、働いている人の役に立てるのか心配だけれど、期待も膨らんで職場体験が楽しみになりました。
- 今までは「職場体験に行かせてもらう」ではなく、「行く」という感覚でした。爪を切る、お礼の仕方、笑顔、元氣、若さを生かして頑張りたいです。保育園に行かせてもらうので、自分から積極的に子どもと関わり、保育士さんが普段どんな気持ちで子どもと接しているのかを考えながらやりたいと思います。
- 「時を守り」「場を清め」「礼を尽くす」を実践して、どんな人にも笑顔で接していきたいです。
- 今までは「してもらい幸せ」だったので、「できる幸せ」「してあげる幸せ」をやっていきたいです。商店へ職場体験に行くので、品出しなどを自分から率先して手伝いたいです。

学校より Impression from school

社長をはじめ、五名もの社員さんがお忙しい中来て下さり、充実した時間が過ごせました。翌週早々にお手紙もくださり、一般企業の丁寧な対応に頭が下がる思いでした。

職場体験学習直前の講話で、緊張感を保って実習に臨みたいと思います。

講師より Impression from lecturer

職場体験事前学習ということで、弊社のマナーを取り入れた形の初めての講演をさせていただきました。生徒さんたちや学校側がどう感じられたか、どう受け止めてくださったかをフィードバックして頂けると幸いです。それを今後の改善に生かし、少しでも何かのお力になればと思います。